

清掃工場: 焼却灰汚染濃度高すぎ…炉休止 千葉・柏市

東京電力福島第1原発事故の影響で、清掃工場の焼却灰が高濃度の放射性物質に汚染された問題で、千葉県柏市は30日、市内の2清掃工場のうち、現在の国の埋め立て基準(1キロ当たり8000ベクレル)より汚染度が高い焼却灰を出している同市南部クリーンセンターの運転を当面休止する方針を明らかにした。放射能汚染で清掃工場が休止になる事態は、環境省も「報告がない」と話しており、全国初とみられる。

同市によると、新型焼却炉を備える同センターと異なり、もう一つの清掃工場は施設が古く、同量のごみを焼いても、焼却灰の量は多いが、汚染濃度は埋め立て可能なレベル以下のため、同センターのごみと一緒に焼却することにした。同センターは9月7日から定期点検で焼却炉の運転をストップ。同センターの焼却灰からは6月、最高で1キロ当たり7万800ベクレルの放射性セシウムを検出。埋め立て処分できずセンター内で保管が続く灰は143トンで保管スペースは残り30日分しかない。【早川健人】



焼却灰から高濃度の放射性物質が検出された柏市南部クリーンセンター＝千葉県柏市で、早川健人撮影

毎日新聞 2011年10月1日 2時34分(最終更新 10月1日 20時49分)

【ニュースの第一報】放射性物質: 焼却灰から7万ベクレル超を検出 千葉・柏

【地元では】汚染マップ: 柏周辺6万～10万ベクレル 千葉・埼玉公表

＜関連記事＞焼却灰引き取り「きわめて困難」 東電が東葛6市に回答書 / 千葉

＜ツイッターで呼びかけ＞がれき受け入れ…東京都に抗議が殺到